

講習No.
H11
必修

【必修】教育の最新事情(中等教育)

講習の開催地

宇治キャンパス

講習の期間 **平成28年10月22日(土)** 受講料 **6,000円**

定員

55人

時間数

6時間

試験方法

筆記試験

担当
講師

中島 千恵
(臨床心理学部教育福祉心理学科教授)

吉村 夕里
(臨床心理学部教育福祉心理学科教授)

澤 達大
(総合社会学部総合社会学科准教授)

田中 亨胤
(兵庫教育大学名誉教授、京都文教短期大学非常勤講師)

講習の概要

「国の教育政策や世界の教育の動向」、「教員としての子ども観、教育観等についての省察」、「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見」、「子どもの生活の変化を踏まえた課題」の4つの領域に関する教育課題について、昨今の状況や動向をもとに、学校教育全体からの視点と中等教育(中学校・高等学校)の現場に絞った専門的視点から読み解く。主な受講対象者は、中学校及び高等学校教諭、養護教諭、栄養教諭とする。

1限

9:00~10:30(90分)

教員スタンダードとしての専門的職能性と倫理性
教員に求められる教育実践力の向上につながる基本視座について確かめる。社会変化の現実を受けとめるとともに、教員が身につける「子ども観」「発達観」「教育観」、教員としての倫理性や品格などの諸点から、専門職者としての教員のスタンダードについて省察する。

2限

10:45~12:15(90分)

思春期のメンタルヘルス～様々な相談から～
「思春期の子どもたちはどのような悩みを抱えているのか」「どのように対応すればいいのか」について思春期相談の具体例を紹介しながら、対応のポイントを講義することを通して、周囲の大人との関係や家族関係、自分自身の問題で揺れ動く思春期の心性について受講者と共に考えたい。

3限

13:15~14:45(90分)

グローバル時代における「生きる力」
学習指導要領総則の趣旨や近年の審議会の議論を踏まえた上で、グローバル時代における「生きる力」とその力を培うための連携について省察する。また海外の事例にも触れ、どのように「生きる力」を育んでいけば良いのか、海外の事例にも触れ、実践への問いを提供する。

4限

15:00~16:30(90分)

社会の変化を踏まえた生徒の理解と指導
子どもを取り巻く社会の急激な変化は、生活全般に大きな影響を与えている。その実態と問題点を整理し、生徒指導のあり方を検討する。さらに将来の展望を踏まえて、生徒たちに必要なキャリア教育について考えていく。

5限

16:45~17:15(30分)

修了認定試験